

伝統芸能の継承

— つなぐ・つたえる南国文化 —

当講座は本学アミューズメント産業研究所の研究成果の一端を地域のみなさまにご紹介することを目的に実施しています。今回は奄美地方に伝わる「島唄」と「なんこ」の事例を紹介することにより、地域文化継承の問題について考えてみたいと思います。

受講料
無料

講座

1

13:35 ~ 15:00 (島唄の実演含む)

奄美島唄を守ってきた人びと

奄美に島唄と呼ばれる伝統の民謡があり、人びとはそのなかに自らの生活を読み込んできた。歌詞は基本的に方言であり、同じ曲名でも詞や節は唄い手ごとに多様である。これは島唄に精通した人には魅力となるが、次の世代への継承を困難にする。このため1970年代から唄者(島唄の第一人者)を中心に継承の試みがはじまり、今なお続けられている。本講座はそうした試みを通して築かれてきた継承の仕組みを文化継承の事例として紹介する。

◆ 島唄(奄美民謡武下流)の実演 ◆



榮 百々代



名田 五月



講師：豊山 宗洋

大阪商業大学経済学部教授
アミューズメント産業研究所
プロジェクト研究員(平成22年度~)

講座

2

15:10 ~ 16:00

南国の伝統ゲーム — なんこ —

「なんこ」は2人で行う酒席の遊戯で、それぞれ3本の木の棒を後ろ手に持ち、何本かを握って相手に見えないよう前に出し、数を当てる遊びである。同種の遊戯は歴史が古く、世界各国に存在する。日本でも昔から広く遊ばれたと思われるが、いつしか薩摩地方を中心とした南国の遊びとなった。

奄美地方にも「なんこ」は存在するが、九州本土とは異なる独特の遊び方がある。この「なんこ」遊戯の特徴を紹介し、その歴史と変遷を考察する。



講師：高橋 浩徳

アミューズメント産業研究所研究員

日時

平成24年

9月30日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所

大阪商業大学 ユニバーシティホール蒼天

定員

150名(申し込み先着順、定員になり次第受付終了)



大阪商業大学
Osaka University of Commerce

Brand new you.

出会いがあなたを楽しくする

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10
大阪商業大学アミューズメント産業研究所
TEL: 06-6618-4068 FAX: 06-6618-4069
E-mail: amuse@oucow.daishodai.ac.jp

